

# 教育課程実施状況調査



## 「知識・技能」の定着に課題が残る

- ・小6社会は、教科全体の正答率が54.1%で、目標値を8.8ポイント下回った。
- ・観点別に正答率を見ると、すべての項目で目標値に届かなかった。中でも、「知識・技能」が58.9%で、目標値を9.1ポイント下回った。

対称児童数	設問数	県正答率	目標値	目標値との差	全国正答率
624人	28問	54.1%	62.9%	-8.8	60.7%

種別		設問数 (問)	県正答率 (%)	目標値 (%)	県-目標値 (ポイント)	全国正答率 (%)	
問題の内容	基礎・活用	教科全体	28	54.1	62.9	-8.8	60.7
		基礎	18	59.3	68.9	-9.6	66.8
		活用	10	44.8	52.0	-7.2	49.6
	領域	国土の自然などの様子	6	48.1	58.3	-10.2	55.6
		農業や水産業	8	52.3	61.9	-9.6	57.6
		工業生産	7	49.6	56.4	-6.8	56.1
		産業と情報の関わり	4	65.8	75.0	-9.2	74.0
		国土の自然環境と国民生活	3	65.7	73.3	-7.6	71.9
	評価の観点	知識・技能	20	58.9	68.0	-9.1	66.9
		思考・判断・表現	8	41.9	50.0	-8.1	45.2
主体的に学習に取り組む態度		10	44.8	52.0	-7.2	49.6	
解答形式	選択式	19	60.8	67.4	-6.6	66.2	
	短答式	7	42.2	55.7	-13.5	52.2	
	記述式	2	31.4	45.0	-13.6	38.3	

## 設問別正答率

通し 番号	解答 形式	観点			活用 観点	問題の 内容	領域					出題のねらい	県 正答率	目標値	全国 平均
		知	思	態			国 土	農 水	工 業	情 報	環 境				
1	選択	○				世界中の 国土	○					赤道について理解している。	43.6	50.0	53.5
2	選択	○					○					中国の国旗と位置について理解している。	89.4	90.0	88.9
3	選択	○					○					日本の領土の東端について理解している。	42.8	50.0	51.7
4	選択	○		○	○	日本の国土 と人々のく らし	○					日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに、地図を読み取っている。	38.3	50.0	47.6
5	選択		○			日本の国土 と人々のく らし	○					日本の気候の特徴に着目して、瀬戸内海の気候について、適切な雨温図を判断している。	17.8	40.0	24.1
6	短答	○					○					季節風について理解している。	56.7	70.0	68.0

①



# 小6社会



通し 番号	解答 形式	観点			活用 観点	問題の 内容	領域					出題のねらい	県 正答率	目標値	全国 平均	
		知	思	態			国 土	農 水	工 業	情 報	環 境					
7	短答	○	○	○		日本の農業		○				都道府県の位置の理解をもとに、米の生産量について表を読み取り、白地図にまとめている。	49.5	60.0	55.1	
8	選択	○						○					稲作の工夫や努力について資料を読み取っている。	80.1	85.0	82.5
9	記述		○	○	○	日本の水産 業		○				地図に着目して、日本周辺の海流と漁場の関係について捉え、表現している。	24.2	40.0	30.0	
10	選択		○	○	○			○					複数の資料に着目して、魚の流通にかかる費用について捉え、判断している。	72.3	70.0	77.7
11	選択		○	○	○	日本の食料 生産		○				日本の食料自給率に着目して、適切な資料を判断している。	65.7	60.0	56.8	
12	短答	○						○					地産地消について理解している。	48.6	60.0	62.1
13	短答	○						○					トレーサビリティについて理解している。	3.4	40.0	16.8
14	選択	○						○					日本の農業人口をめぐる課題について、資料を読み取っている。	74.5	80.0	79.8
15	選択	○				自動車をつ くる工業			○			自動車工場の作業工程について理解している。	65.7	70.0	68.0	
16	選択	○							○				日本の自動車の海外生産台数の変化について、資料を読み取っている。	45.7	50.0	55.1
17	短答		○	○	○				○				会話に着目して、これからの自動車について考え、判断している。	36.7	40.0	39.5
18	選択	○				日本の工業 生産			○			日本の工業生産の変化について、資料を読み取っている。	73.7	85.0	84.8	
19	短答	○		○	○				○				大工場と中小工場の理解をもとに、資料を読み取っている。	42.0	50.0	55.4
20	選択	○							○				日本の鉱産資源の輸入について、資料を読み取っている。	55.6	60.0	61.6
21	選択		○	○	○				○				まとめに着目して、国内の製鉄所の立地について考え、適切な分布を判断している。	27.9	40.0	28.3
22	選択	○				情報を生か した産業				○		メディアの特徴を理解している。	88.1	90.0	90.9	
23	選択	○				情報を生か した産業				○		情報を伝える側が意識していることについて理解している。	69.6	80.0	80.8	

②

③

# 教育課程実施状況調査



通し 番号	解答 形式	観点			活用 観点	問題の 内容	領域					出題のねらい	県 正答率	目標値	全国 平均	
		知	思	態			国 土	農 水	工 業	情 報	環 境					
24	選択	○				情報を生かした産業					○	インターネットを利用するときの注意点について理解している。	66.8	80.0	77.7	④
25	記述		○	○	○						○	資料に着目して、コンビニエンスストアのポイントカードの利点を考え、表現している。	38.6	50.0	46.5	
26	選択	○				自然環境と国民生活					○	津波から生活を守る取り組みについて理解している。	85.9	90.0	88.3	
27	短答	○									○	天然林と人工林について理解している。	58.8	70.0	68.6	
28	選択		○	○	○						○	条例に着目して、環境を守るきまりを捉え、判断している。	52.4	60.0	58.9	

①～④は課題となる設問を示している。

## 【課題となる設問】① 通し番号5

	県正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差	観点	形式
正答率 (%)	17.8	40.0	-22.2	24.1	-6.3	思	選択
問題の内容	日本の国土と人々の暮らし						
出題のねらい	日本の気候の特徴に着目して、瀬戸内海の気候について、適切な雨温図を判断している。						

## 【課題となる設問】② 通し番号9

	県正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差	観点	形式
正答率 (%)	24.2	40.0	-15.8	30.0	-5.8	思態	記述
問題の内容	日本の水産業						
出題のねらい	地図に着目して、日本周辺の海流と漁場の関係について捉え、表現している。						

## 【課題となる設問】③ 通し番号21

	県正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差	観点	形式
正答率 (%)	27.9	40.0	-12.1	28.3	-0.4	思態	選択
問題の内容	日本の工業生産						
出題のねらい	まとめに着目して、国内の製鉄所の立地について考え、適切な分布を判断している。						

## 【課題となる設問】④ 通し番号4

	県正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差	観点	形式
正答率 (%)	66.8	80.0	-13.2	77.7	-10.9	知	選択
問題の内容	情報を生かした産業						
出題のねらい	インターネットを利用するときの注意点について理解している。						



## ○「知識・技能」の定着に課題（経年的課題）

児童の問題意識に基づく学習問題の解決に向けた学習活動を通して、知識・技能の定着を目指す

依然として知識・技能の定着に課題がみられる。単に暗記するだけの学習になっていると思われ、判断・表現等とも連動する「使える知識や技能」の習得につながらないと考えられる。児童が疑問をもち、それを追究・解決するために、見通しをもって学習を進めていくことが必要だと考えられる。特定の学年や単元ではなく社会科全体の視点から授業改善のポイントとして4点を示す。

### （1）問題解決的な学習の位置付け

- ・児童の疑問を引き出すような教材を工夫していますか？
- ・児童の疑問を引き出すような発問を工夫していますか？  
（例）「これは何でしょう？」→「～であるのに、なぜこのようになっているのだろう？」
- ・児童が疑問を解決するために根拠となる資料を活用していますか？

（例）大問2(2)に関連して雨温図の活用について

気候の特色の理解を目指す場面では、雨温図を活用した実践が必要である。

- ①月ごとの気温（℃）を折れ線グラフ、降水量（mm）を棒グラフで表している等の特徴を確認する。
- ②気温の目盛りが一番下が0ではないことを確認する。
- ③月別平均気温と降水量の変化に着目し、季節のサイクルを捉える。
- ④いくつかの都市の雨温図を比べてみることで、気候の特徴を見出す。
- ⑤〇〇地域では、1年を通して降水量が多い（少ない）ことに着目し、なぜ降水量が多い（少ない）のか、その背景に気付く。

### （2）学習過程の評価

- ・学習問題に対応したまとめを実施していますか？  
→児童自身による振り返り  
教師による振り返り

### （3）単元等の授業デザイン

- ・単元で身に付けさせたい資質・能力が明確になっていますか？
- ・児童が学習問題を解決するための学習計画を立てていますか？  
（例）疑問→学習問題の設定→予想→学習計画

### （4）獲得した知識・技能の継続した活用

- ・他の場面でも意識して活用していますか？（横の系統性の理解）
- ・他の学年でも意識して活用していますか？（縦の系統性の理解）